

「解答」・「解答例」

選抜区分	2024年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 文学部 比較文化学科（科目名：小論文）
問題Ⅰ	
問1	
数学の授業で前の席に座っている女の子や、新しいサッカーチームの仲間や、放課後に地元のコーヒー店のアルバイトで知り合った人などを通して、友だちの輪を広げられるかもしれないということ。また、同じ興味を持つ人や、全く異なる話題を持ってくる親友を見つけられるかもしれないということ。（137字）	
問2	
少数の友だちの方が特定の人とより強い絆を作ることができるかもしれないし、好きな人のことをよくわかるようになるかもしれない。あまり合わないと感じる大きなグループの中にいるよりも、あなたを心から理解し、ありのままのあなたを愛してくれる少数の親しい友だちがいることの方が重要である。（138字）	
問3	
ソーシャルメディアは、みんながいつも何かとてもおもしろそうなことをしていたり、たくさんの友だちと出かけたりしているように見せるから。また、ソーシャルメディアは、非現実的な友人関係のイメージを描き、良いところだけを寄せ集めた他人の生活と自分の生活とを比べさせることがあるから。（137字）	
問4 別紙「出題の意図」を参照のこと。	
問題Ⅱ	
問1 別紙「出題の意図」を参照のこと。	
問2（標準的な解答例）	
華麗な演奏技術に魅了され、そのような技巧の持ち主「ヴィルトゥオーソ」個人を熱狂的に讃美して、にわかに興味から演奏会を訪れる多数の「娯楽派」と、音楽に関する一定の学識を有し、質の高い楽曲と演奏を堪能する少数の「真面目派」とが対立した。しかし、すでに評価を確定された古典的作品にこそじっくり耳を傾けるべきだという真面目派の倫理的な批判が娯楽派を徐々に圧倒し、また、ヴィルトゥオーソに対する飽きも始まり、さらには娯楽派の根底にあった商業主義が過熱してこれに対する不信が高まった。結果、娯楽派が凋落し、真面目派が娯楽派を吸収する形で、1870年頃までに、現在見られるような演奏会での静かな鑑賞態度が形成された。 (298字)	